

行革甲子園2020

国登録有形文化財
「旧長井小学校第一校舎」の
有効活用

山形県長井市

総務参事 兼 地方創生参事 兼 総合政策課長

竹田 利弘

1. 旧長井小学校第一校舎の概要
2. 校舎の歴史
3. 校舎の保存へ
4. 校舎の保存工事
5. 「まなび」と「交流」の活用
6. 取り組みの創・効・種

1. 旧長井小学校第一校舎の概要
2. 校舎の歴史
3. 校舎の保存へ
4. 校舎の保存工事
5. 「まなび」と「交流」の活用
6. 取り組みの創・効・種

1. 旧長井小学校第一校舎の概要①

旧長井小学校第一校舎は中心市街地に位置



1.旧長井小学校第一校舎の概要②

建築年：昭和8年（築87年）

構造：木造2階建瓦葺

幅：92.82m（東西方向）

奥行：10.92m（南北方向）

高さ：12.1m（最大）

延べ床面積：2,303㎡



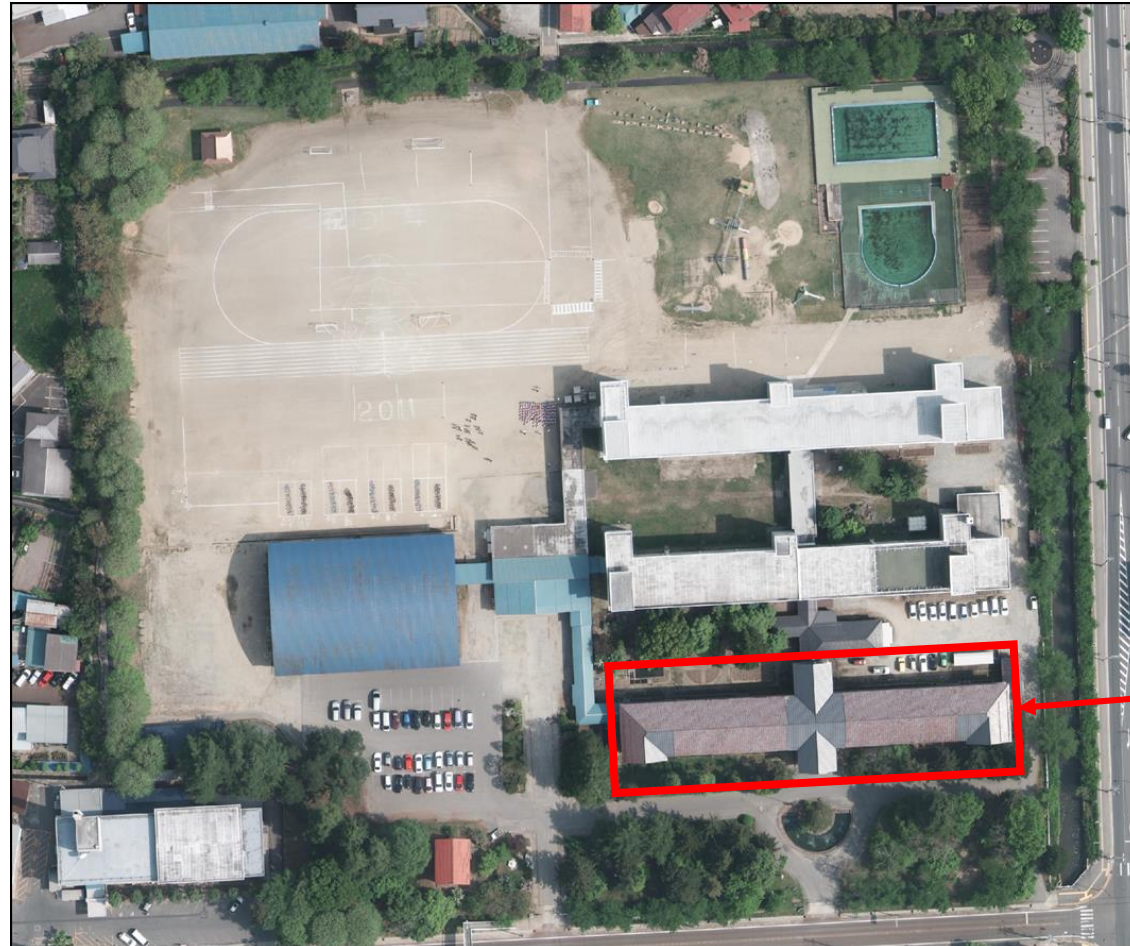
旧長井小学校第一校舎の外観



廊下と貸室

1.旧長井小学校第一校舎の概要③

長井小学校と同じ敷地内の建物

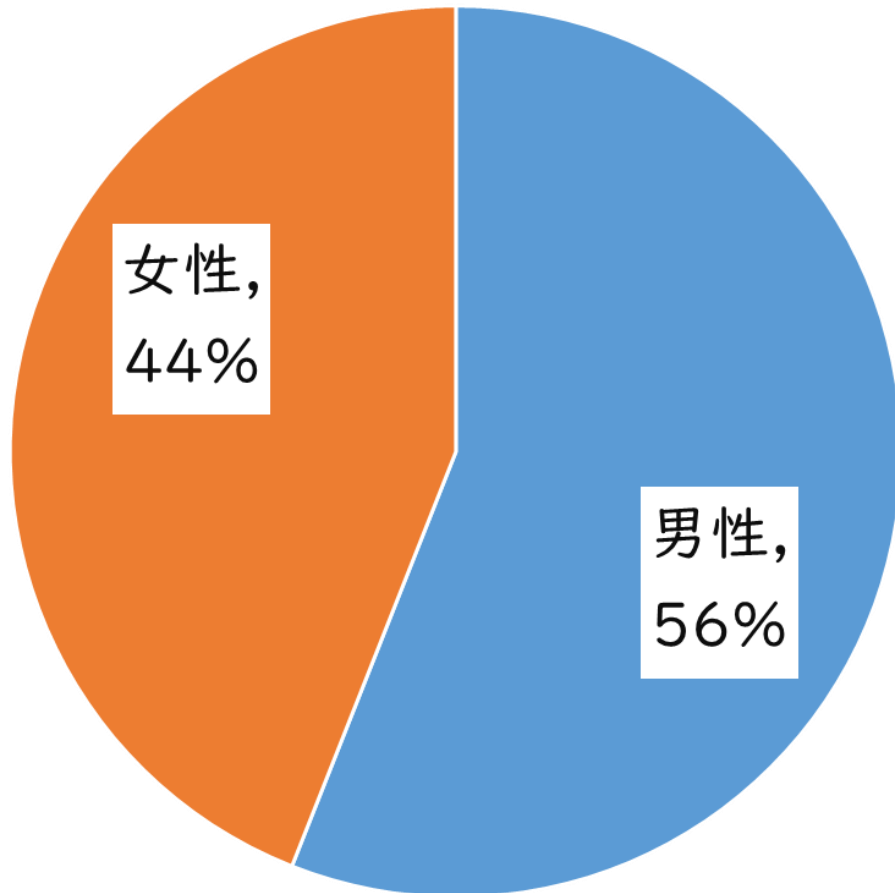


旧長井小学校第一校舎

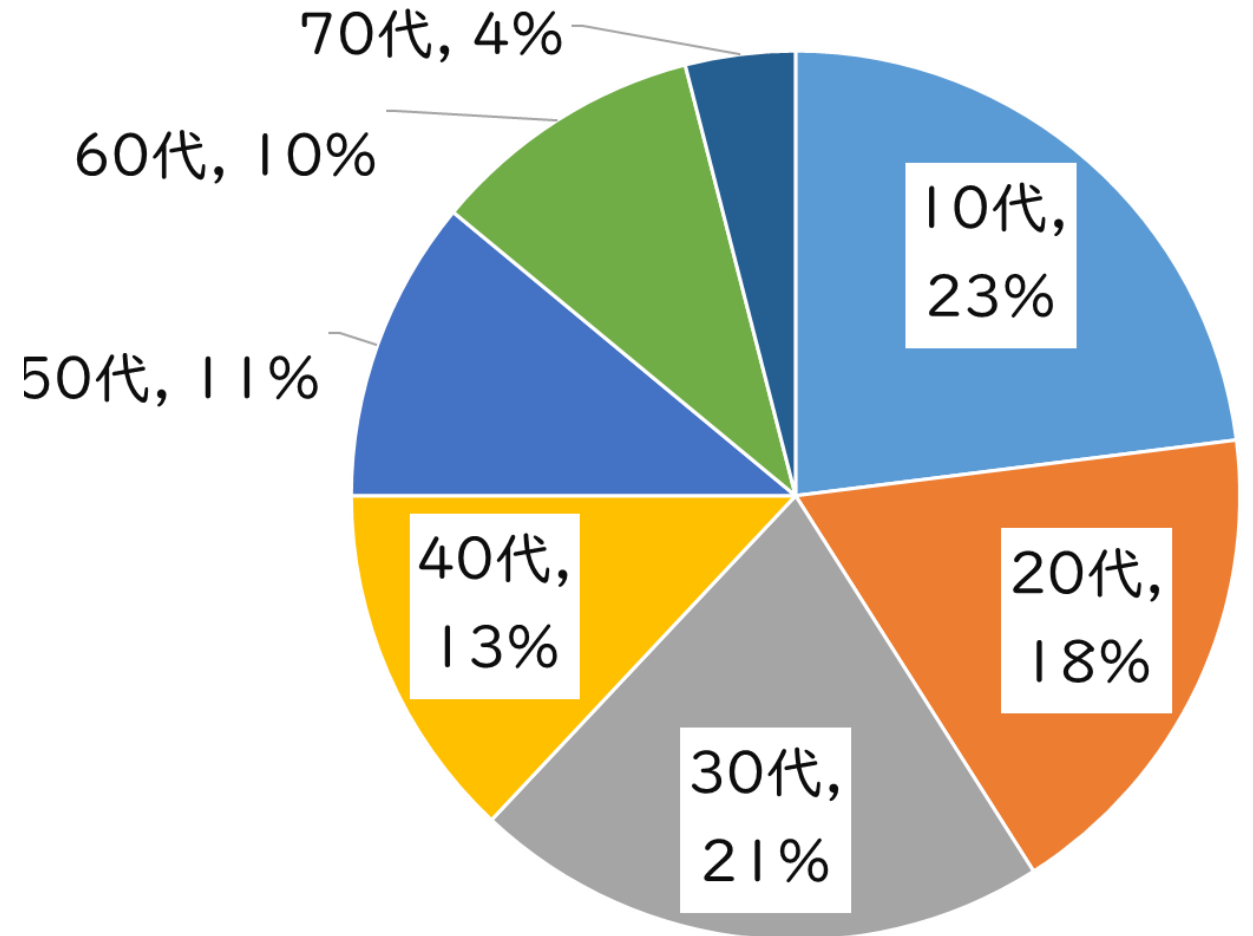
1.旧長井小学校第一校舎の概要④

来館者数：101,902人（平成31年4月27日～令和2年9月30日）

性別



年代別



1.旧長井小学校第一校舎の概要⑤

主な利用：キャリア教育、大人の学び直し、中高生の学習、
フリースペースの利用、イベント等の実施 等



にぎわうフリースペース



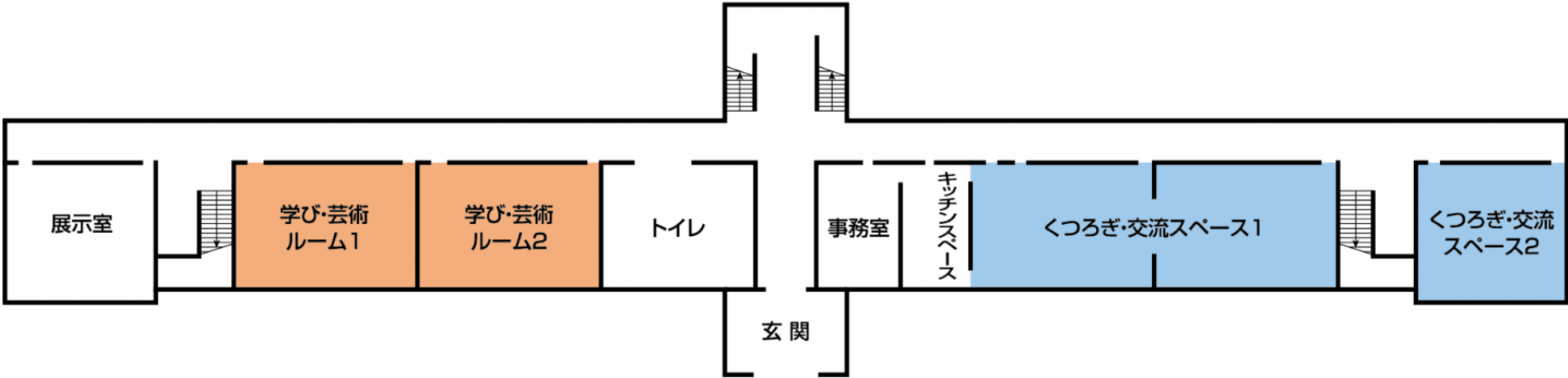
木のおもちゃで遊ぶ親子



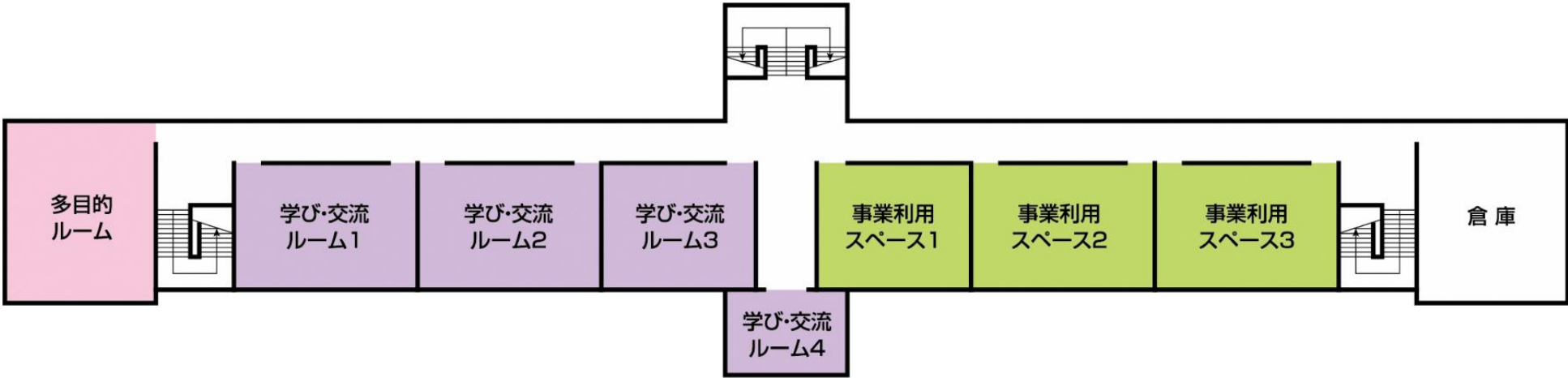
大人の学び直しの様子

1.旧長井小学校第一校舎の概要⑥

1階



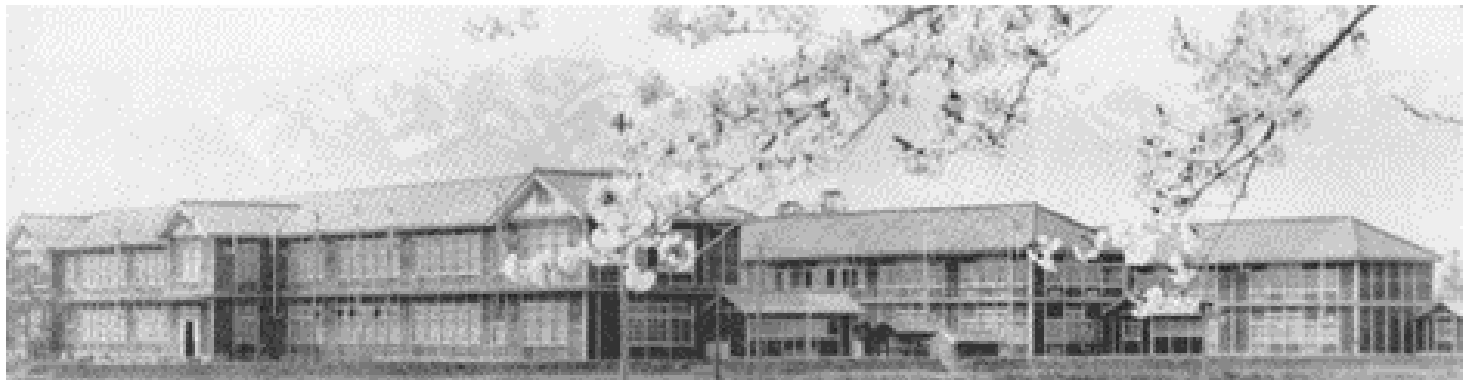
2階



1. 旧長井小学校第一校舎の概要
- 2. 校舎の歴史**
3. 校舎の保存へ
4. 校舎の保存工事
5. 「まなび」と「交流」の活用
6. 取り組みの創・効・種

2. 校舎の歴史①

- 昭和8年8月22日 第一校舎竣工
- 昭和60年 保存改修工事
- 昭和62年 長井市教育委員会で、第一校舎の保存について議決



建築当時の長井小学校 一番左側が第一校舎

2. 校舎の歴史②

- 平成21年1月22日
国の登録有形文化財に登録
- 平成21年
長井市教育委員会で、今後も
第一校舎を保存・活用する方針を確認
- 平成25年
耐震診断で倒壊する可能性が
高いことが判明



耐震改修前の第一校舎

構造耐震指標Iw値

- 耐震診断によって判明した第一校舎のIw値：0.094
- 倒壊する可能性が高いとされるIw値：0.7
- 現在の第一校舎のIw値：1.26
(倒壊の可能性がないとされる水準)

2. 校舎の歴史③

- 平成27年
耐震強度不足により閉鎖
- 平成29年～平成31年
免震等の耐震化工事、内装工事等整備
- 平成31年4月27日
「まなび」と「交流」の施設として開館



耐震改修前の廊下

1. 旧長井小学校第一校舎の概要
2. 校舎の歴史
- 3. 校舎の保存へ**
4. 校舎の保存工事
5. 「まなび」と「交流」の活用
6. 取り組みの創・効・種

3. 校舎の保存へ①

校舎から地方創生の拠点としての活用検討

- **平成26年度～平成27年度**
学校施設としての継続使用を検討も、改修等工事の財源や学校管理上の課題もあり断念
- **平成28年度～平成29年度**
内閣府の地方創生推進交付金を活用（H28、H29 総額28,329千円）し、民間シンクタンクの支援を受け、中心市街地活性化等に資する施設としての活用を模索

3. 校舎の保存へ②

活用方法、アイデアの調査

- 全国の廃校活用事例の調査
- 市内各団体、PTA等学校関係者、民間事業者からのヒアリング
(延べ34の団体・企業、約140人から意見聴取)
- シンポジウム開催による市民との意見交換
(2回開催、市民約150人参加)

卒業生や歴代校長による『旧「長井小学校」の保存・利活用を推進する会』が設立され、意見書をいただく



市民と第一校舎の活用を
考えるシンポジウム

3. 校舎の保存へ③

基本構想、基本計画のとりまとめ

- 平成29年6月 基本構想とりまとめ
「まなび」と「交流」をテーマに複合的な施設としての活用方針と念頭に官民連携により事業を進めることを示した
- 平成30年3月 基本計画とりまとめ
施設の機能やゾーニング、実施する事業の想定を示した

1. 旧長井小学校第一校舎の概要
2. 校舎の歴史
3. 校舎の保存へ
- 4. 校舎の保存工事**
5. 「まなび」と「交流」の活用
6. 取り組みの創・効・種

4. 校舎の保存工事①

耐震改修工事、本体改修工事の実施

- 平成29年3月～平成31年3月

地方創生推進交付金、地方創生拠点整備交付金、登録有形文化財建造物修理事業費補助金、地域活性化事業債などを活用し、第一校舎の耐震改修工事、本体改修工事を実施

事業費：8億8,400万円（設計及び整備費）

事業への寄附金（クラウドファンディング）：

50,683千円（個人：4,728件、企業：60社）

4. 校舎の保存工事②

耐震工事について

免震構造でなければ耐震性能を確保できないため、長さ93m、幅11m、高さ12mある木造校舎をそのまま持ち上げ（ジャッキアップ）、80個ほどの免震装置を設置する全国でも珍しい工事を実施

4. 校舎の保存工事③

校舎1階の床板をはがし、一部の壁を抜いて鉄骨を通し、ジャッキアップの準備



床板をはがした正面玄関付近



ジャッキアップのため校舎内を通る鉄骨

4. 校舎の保存工事④

校舎のジャッキアップ



校舎を持ち上げる
油圧ジャッキ



基礎から約40cm持ち
上げられた校舎



基礎から約1.2m持ち
上げられた校舎

4. 校舎の保存工事⑤

免震装置を設置



免震装置復原ゴム



免震装置の工事

4. 校舎の保存工事⑥

上屋の耐震補強



傷んだ土台部分の補修



筋交いの新設

4. 校舎の保存工事⑦

外装の復元



屋根の葺き替え



壁の塗装

4. 校舎の保存工事⑧

内装の復元



一度はがした床板の復元



はがした腰板の塗装

1. 旧長井小学校第一校舎の概要
2. 校舎の歴史
3. 校舎の保存へ
4. 校舎の保存工事
- 5. 「まなび」と「交流」の活用**
6. 取り組みの創・効・種

5. 「まなび」と「交流」の活用（学びの場①）

• キャリア教育

こどものまち(200人)※や起業体験ワークショップ(2回/50人)、お仕事なりきり体験会(4回/51人)などの取り組みを実施

※子どもが自分たちで企画し、まちで仕事をして、給料をもらい、その給料で買い物やサービスを受けるといった疑似体験を行うイベント



こどものまちの様子



起業体験ワークショップ
市内銀行員との融資交渉の場面



お仕事なりきり体験会
パティシエ体験

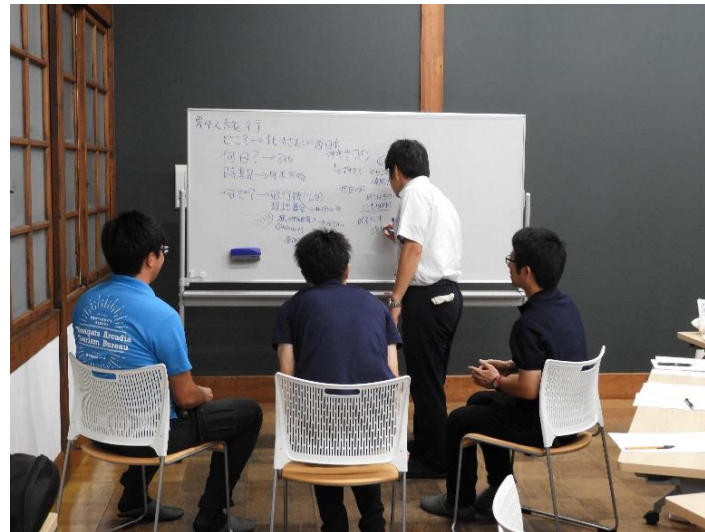
5. 「まなび」と「交流」の活用（学びの場②）

• 大人の学び直し

英会話講座（16回/93人）やファシリテーション講座（3回/49人）など
仕事や生活に役立つ学びの機会、歴史的建造物講座（13人）な
ど長井市の歴史を学ぶ機会などを提供



英会話講座



ファシリテーション講座



歴史的建造物講座

5. 「まなび」と「交流」の活用（学びの場③）

• 中高生の学習

中高生がフリースペースなどで放課後や休日の学習の場として、多いときは1日で100人近い生徒が利用



第一校舎で勉強する生徒たち

5. 「まなび」と「交流」の活用（学びの場④）

• 展示室の活用

展示室では、最上川の舟運により商業のまちとして栄え、舟運衰退後は、企業誘致により企業城下町として製造業のまちとして発展した、市の歴史や産業を学ぶことができる

歴史を感じられるスポットも紹介し、まち歩き観光との連携により、街中へ人を誘導



市の歴史を学べる実物も展示

5. 「まなび」と「交流」の活用（交流の場①）

・ フリースペース

中高生の勉強以外にも、小学生や親子連れの遊び場、若者の仕事の場、高齢者のお茶飲みの場として様々な世代が利用

令和2年7月3日よりカフェがオープンし新たな賑わいを創出

カフェでは東京オリパラのホストタウン相手国のメニューも取り入れ



気軽に入れるフリースペースは多世代が利用



カフェがオープンし、さらに居心地のよい空間に

5. 「まなび」と「交流」の活用（交流の場②）

・ イベント等の実施

「みんなでボードゲーム」のイベントや「長井おどり大パレード」の練習会などで様々な世代の交流を促進

英会話カフェ(65回/約670人)により国際交流の事業も展開



みんなで楽しくボードゲーム



長い廊下で長井おどり大パレードの練習



様々な世代が参加する英会話カフェ

5. 「まなび」と「交流」の活用（その他の活用）

地元のIT事業者、山形大学工学部が事業利用スペースを賃借し、サテライトオフィスやプログラミング教室などのイベントの場として活用

コロナ禍の中で、第一校舎の職員・スタッフが動画による学びの機会を提供



動画配信によるオンラインワークショップ

1. 旧長井小学校第一校舎の概要
2. 校舎の歴史
3. 校舎の保存へ
4. 校舎の保存工事
5. 「まなび」と「交流」の活用
- 6. 取り組みの創・効・種**

6. 取り組みの創・効・種（「創」の視点①）

構想段階から市民の意見を丁寧に聞き取り

- ✓ 文化財の保存活用にはこれまでの既成概念を捨て、新たな視点が必要との考えのもと、市民とともに事業を組み立て!

民間事業者の柔軟な発想を活かす

- ✓ 国の登録有形文化財のため外観を大きく変えられない等の制限がある中で、現実的に可能な整備や活用方法について、サウンディング調査の手法を用いて民間事業者の発想を取り入れ!

「学び」の視点から地方創生の拠点として活用

- ✓ 木造の旧校舎の雰囲気をもそのまま保存し、歴史と伝統を活かした「学び」をテーマとした事業を展開！

6. 取り組みの創・効・種（「効」の視点①）

学びをテーマに、将来の市を担う子どもたちの育成

- ✓ キャリア教育を中心に、将来を担う子供たちに世界を相手にして地元で働く、一度長井から離れても戻ってきて働くなどの選択肢を提供！

6. 取り組みの創・効・種（「効」の視点②）

中心市街地の賑わいづくりに貢献

- ✓ 子どもから大人まで幅広い年代がサードプレイスとして気軽に利用し、様々な効果を創出！

主な効果

来館者：101,902人（H31.4～R2.9） ※当初想定約の約1.5倍

中心市街地歩行者：256人/日（H30）→439人/日（H31）

経済波及効果：約3億9千万円 ※他施設等での2次的な消費を含む試算

日常的に活用することで効果的な維持管理

- ✓ 誰でも気軽に利用できる施設として常時使用することで、傷みやすい木造校舎を維持!
- ✓ 使用料や指定管理者の事業収益を、維持管理経費に充当!

既存ストックの活用

- ✓ 昔からあるものは地域住民の愛着が深く、住民の思いや木造校舎の雰囲気を活かした活用を推進！

6. 取り組みの創・効・種（「種」の視点②）

誰もが気軽に入れる施設

- ✓ おしゃれで誰もが気軽に入れるフリースペースを設け、小さい子どもからご高齢の方まで、様々な世代が利用！

6. 取り組みの創・効・種（「種」の視点③）

民間事業者の発想を取り入れ負から正（勝）の施設へ

- ✓ 指定管理者と行政課題を共有し、民間事業者の発想やアプローチからも地方創生を推し進める！
- ✓ 行政改革は経費や人員の削減だけではなく、利用が難しい施設を民間事業者の発想も取り入れ、バリュー（価値）を生み出す！